

# 市議会だより

第95号  
平成27年12月  
定例議会

発行日／平成28年1月20日 発行／岩手県陸前高田市議会 編集／議会広聴広報特別委員会



一般質問……………	2～9ページ
議会報告会……………	9
議案の審議・結果……………	10
請願審査・発議……………	10～11
管外行政視察報告……………	11
特別委員会・議会のうごき……………	12



威風堂々と行進する消防団員（消防出初式）

## 新年を迎えて

陸前高田市議会議長

伊藤 明彦



市民の皆様にご挨拶申し上げます。本年の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

市民の皆様にご挨拶申し上げます。本年の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

市民の皆様にご挨拶申し上げます。本年の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

市民の皆様にご挨拶申し上げます。本年の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

市民の皆様にご挨拶申し上げます。本年の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

# 市役所新庁舎、中小企業支援、 教育環境、復興事業などの課題で論戦

12月8日から10日までの3日間にわたり11人が登壇

登壇順

<p>鵜浦 昌也 (創生会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>被災した漁港と防潮堤の復旧状況について</li> <li>古川沼周辺の再生について</li> <li>予算の執行状況について</li> </ol>
<p>菅野 定 (新風)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の今後のあり方について</li> <li>被災中小企業事業再開支援補助金・中小企業被災資産復旧事業費補助金及び被災中小企業復興支援補助金に係る手続きについて</li> <li>選挙権年齢の引き下げに伴う「市民と政治との関わり」について</li> </ol>
<p>三井 俊介 (新風)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>Iターン者増加に対する取り組みについて</li> </ol>
<p>大坪 涼子 (日本共産党)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>仮設住宅入居者の移転等に対するあたたかい支援について</li> <li>市内の診療体制及び二又診療所について</li> <li>インフルエンザ予防接種助成事業について</li> </ol>
<p>及川 修一 (新風)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>市役所新庁舎建設について</li> <li>小中学校の教育環境について</li> <li>県が行う復旧事業について</li> </ol>
<p>大坂 俊 (翔英会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>復興計画終盤を迎えようとする平成28年度予算の編成について</li> <li>高田・今泉地区被災市街地復興土地区画整理事業における防災集団移転促進事業について</li> <li>交付金事業で行われた被災地復興のための土地利用計画策定促進事業について</li> </ol>
<p>福田 利喜 (創生会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地方創生について</li> <li>震災行方不明者について</li> </ol>
<p>蒲生 哲 (新政会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>人口減少社会の当局の対策対応について</li> <li>国際リニアコライダー（ILC）について</li> <li>新陸前高田市立高田東中学校の開校に向けた進ちょく状況について</li> </ol>
<p>伊勢 純 (日本共産党)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>本市の住宅再建支援制度と今後の対応について</li> <li>環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）による本市への影響について</li> <li>新陸前高田市立図書館整備基本構想について</li> </ol>
<p>藤倉 泰治 (日本共産党)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>生活再建のための災害援護資金貸付制度の活用について</li> <li>県内いじめ事件と本市の小中学校の状況について</li> <li>被災した中小商工業者への支援について</li> </ol>
<p>佐々木 一義 (創生会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>震災の教訓から学んだ、今後のまちづくりについて</li> </ol>



鵜浦昌也  
(創生会)

## 漁港の復旧 状況はどうか

**質問** 本市の基幹産業である漁業の活性化には、生産拠点施設となる漁港は欠かせない。震災からの復旧状況はどうか。

**答弁** 県が管理する広田六ヶ浦、長部の3港と、市が管理する9港のうち、根岬、大陽、只出、両替、脇之沢の



復旧工事が進む米崎町の脇之沢漁港

5港を養殖生産拠点の最優先漁港と位置付けて工事を進めてきた。残る市管理の要害、大祝、矢の浦、三鏡の4港もすでに工事に着手している。

11月末時点での工事の進捗率は、県管理漁港が約81%で、平成27年度末の完成予定市管理漁港は約82%の進捗率で、すべてが完了するのは28年度内の予定となっている。

今後の気象状況など、懸念されることもあるが、概ね予定工期内に完成できるものと思っている。

## 古川沼再生の 事業内容は

**質問** 古川沼の再生に向けて、どのような工事を進めているのか。

**答弁** 震災後、県が復旧工事を進めている。具体的には、気仙川河口から区画整理事業区域までの約1.4キロを災害復旧区間とし、護岸整備工事を行っている。今後、その上流部は総合流域防災事業区間としての河川改修工事が予定されている。

る。

**質問** 震災犠牲者の捜索は終了したのか。

**答弁** 平成24年7月から、県警等による捜索活動を9回、延べ275人を動員し、潜水調査や小型船によるソナー調査、水中ロボットなどの調査を行ってきたが、新たな収容はなかった。がれき撤去作業については、平成25年8月で終了した。

## 災害復旧工事の 入札不調対応は

**質問** 災害復旧工事の入札状況はどうか。

**答弁** 震災以降となる平成23年度から27年11月末までの入札件数は481件で、災害復旧工事の入札件数は173件。このうち、不調となったのは21件の12.1%となっている。不調になった際には、設計変更などしながら再入札してきた。再入札になると、工事発注に遅れが生じることから、速やかに不調となった要因を分析し、短期間で改めて工事の発注を行うなど、一日も早い復旧・復興事業の推進に努めている。



三井俊介  
(新風)

## 外部からの移住定住を 促すには

**質問** 「移住・定住」施策の基本的な考え方はどうか。

**答弁** 「陸前高田市への新しい人の流れをつくる」ことを目標とし、「空き家バンク」の創設や移住についての専門窓口の設置を検討している。

**質問** 定住施策として「緑のふるさと協力隊」の活用はどうか。

**答弁** 有益な施策だと考えているので、関係機関と協議しながら検討したいと思う。

**質問** 仕事をしてくれる若者の獲得育成が大切ではないか。

**答弁** イターン施策はなんとしても進めていかなければならない。そのためには既に移住されている方とやり取りをさせて頂くのが一番の近道だと感じている。



徳島県神山町では空き家をリフォームし、移住者を受け入れている

## 在京陸前高田人会ふるさとをつどい

「第30回ふるさとをつどい」が11月22日、東京都内で開催され、約230人が参加しました。

在京人会からは、災害復興支援金の贈呈があり、岩淵貞夫会長より市長へ手渡されました。

本市議会からは、議員6人が出席し、復興が進む市内の



陸前高田の話題で盛り上がる会場

状況などについて参加者と懇談しました。



菅野 定  
(新 風)

## より良い中心市街地を造るためには

**質問** 中心市街地に、高台居住者や高齢者が買物に行くための移動可能システムをどのように考えているか。

**答弁** 現在、高齢者への移動支援はNPO法人愛ネット高田が4月から、また、社会福祉協議会は7月から、さら

に、介護サービス事業者らが移動支援に取り組んでいる。今後は市街地の道路網の整備状況を見据え、バス路線を見直し、移動支援の充実と交通手段の確保を図っていく。

**質問** 5年の使用期限を過ぎた仮設店舗が手続きで1年延長するが、その後の扱いはどうか。

**答弁** 中心市街地を整備する上で、様々な状況が考えられる。その時期に応じて適切に対応していきたい。

**質問** 市内の仮設にいるNPO法人は、中心市街地に事務所を設置したいがどうか。

**答弁** 事務所開設希望の把握に努め、仮設施設有効活用等支援事業で検討していく。

**質問** 津波により避難する場合、中心市街地の客は本丸公園に避難する。一方で洞の沢地区の避難経路もあるがどうか。

**答弁** 洞の沢地区の方々と話し合う予定であり、お互いに協議・確認し、安全面が確認できれば、避難路の整備、避難場所の指定などを検



周辺部を含め中心市街地の避難路整備が求められる (高田町)

討したい。

## 被災中小企業が受ける支援補助金の期限は

**質問** ※再開補助金、※復旧補助金、※コンプレックス補助金の期限がもうすぐだがどうか。

**答弁** あくまでも平成27年度分の申請の期限である。期限が近くなつてからの申請を考えている場合は、県担当課と調整し進めるので窓口で相談してほしい。

## 若者の投票率を上げるには

**質問** 選挙権年齢引き下げによる若者への取組みをどうするか。

**答弁** 明るい選挙啓発授業の実施や、18歳を迎える月には選挙啓発パンフレットの郵送を検討し、若者が取組みやすいよう、ツイッター、フェイスブック、ホームページを開設するなど、若い世代に向けた啓蒙活動を進めていく。

- ※再開補助金
- 被災中小企業事業再開支援補助金
- ※復旧補助金
- 中小企業被災資産復旧事業費補助金
- ※コンプレックス補助金
- 被災中小企業復興支援補助金



大坪 涼子  
(日本共産党)

## 仮設住宅入居者へのあたたかい支援を

**質問** 市長は被災世帯の医療費免除を継続された。いのちを守るのが最優先と思つ。寒い冬を迎えた仮設住宅入居者の入居状況はどうか。

**答弁** 現在ある2090戸のうち1332世帯が入居し入居率は63・7%である。

## 二又診療所と市内の医療体制の拡充を

**質問** 震災後の全国の応援で支えられてきた現在の市内の診療体制はどうか。

**答弁** 被災後、県立高田病院と県内外の医療支援チームにより救護所が設置され、その後、県立高田病院仮設診療所、岩手県医師会高田診療所の開設や、市内の被災医療施設も再開され、地域医療復興が取り組まれてきた。

濟生会の診療開始によって、市内では9医療施設となった。

**質問** 仮設住宅の早期集約を進めるべきではないか。

**答弁** 今年度内に集約の方針を示す。移動には引越作業または、金銭給付により支援する。

**質問** 住まいをまだ決めかねている人たちが、不安や孤立感を味わうことがないようあたたかい配慮はどうか。

**答弁** 電話や訪問相談など相談支援体制を確立したい。



二又診療所

岩手県医師会の診療所は3月閉鎖となるが、心療内科は県立高田病院に引き継がれる予定である。

**質問** 震災直後からの二又診療所の活動と今後の体制はどうか。

**答弁** 現在の医師は、本市の医師養成奨学資金貸付金制度の義務履行で県立大船渡病院から派遣され、震災直後に着任。週3日勤務してきたが、この3月で満了する。血液疾患の多い気仙地域において専門性を発揮し、地域の信頼を得てきている。

その後の体制は呼吸器外科専門の医師の内諾を得ている。

## インフルエンザ対策の拡充を

**質問** インフルエンザ予防接種料金は保険適用外のため、3千円や4千円など医療機関で大きな違いがある。助成方法の改善はどうか。

**答弁** 本市では中学生までは一回2千円、65歳以上は一人1500円を助成しているが、最近接種料金が上がっていることから、助成額と助成方法を検討したい。



川 修 一  
(新 風)

## 市役所建設の時期と場所は

**質問** 市役所新庁舎建設は、多額の財源を必要とすることから、市からの財源の持ち出しを少なくすることが求められる。財源の性質上、平成32年度までに災害復旧で行うべきだと思うがどうか。

**答弁** 市役所新庁舎建設に



市役所新庁舎建設候補地の一つとされる高田小学校

は、震災前程度と考える場合、見込まれる費用は、33億円ほどと思われる。復興交付税の対象となる平成32年度までに整備を図っていきたい。

**質問** 市役所建設には、震災の教訓を生かし、安全に気を配りながらも、商店街の活性化にも配慮する必要もある。市役所建設には、高田小学校跡地が適地と思うがどうか。

**答弁** 市役所の建設位置は、具体的検討時期を迎えている。高田小学校跡地への建設の要望は、市民からもいただいております。その候補地の一つだと思っております。

## 校庭の仮設住宅集約と小友小新設の可能性

**質問** 横田中学校は、来年度から第一中学校に統合される。その後は横田小学校として使用するようだが、校庭の仮設住宅を小学校側に集約する機会だと思いませんか。

**答弁** 市内の仮設住宅の入居率は60%を超えている。仮設グラウンドなどの充実を図りながら、出来るだけ早

期に現在の状況が解消されるように調整していく。

**質問** 小友コミセンと小友小学校PTAから、小学校移転新設の署名が提出されたが、3131名にも及ぶ署名をどのように受け止めていくのか。

**答弁** 署名に寄せられた地域の思いについては、充分理解できるが、用地の確保や多額の建設費が見込まれるので、根気強く国へ要望していく。

## 広田町の野外活動センターの早期建設を

**質問** 広田町に建設予定の県立野外活動センターは、学校などの公共施設のほとんどが被災した同町の復興の象徴的なものだ。遅々として進まないと感じるが、どのような状況か。

**答弁** 野外活動センターは、広田半島活性化に大いに寄与するものだ。現在コンサルタント委託のための手続きを行っている。事業の進捗よくが図られるよう県と協議を

## 市議会議員研修会

岩手県市議会議長会主催の議員研修会が11月16日、盛岡グランドホテルで開催され、本市議会から議員16人が出席しました。

研修会では二つの講演が行われ、第一部に岩手県復興局長の中村一郎氏が「すきな三陸」を「すてきな三陸」に！復興の現状と今後の展望」と題し、県内各地域における復興の進み具合について話されました。

第二部では、テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏が「戦後70年、日本政治の行方」と題し、世界各地で起きていくテロ行為について、背景となる事柄を踏まえた対応が大切であり、相手の事を正確に知り、お互いに尊重することが重要だと話されました。



川村晃司氏の講演



大坂 俊  
(翔英会)

### 復興計画終盤を迎えようとする 平成28年度予算の編成について

**質問** 住宅再建の次に優先的に取り組むべき課題は何か。

**答弁** ひとが希望をもつて住み続けるまちとしての根幹である「生業」の復興を進めていく。農林水産業においては、ブランド力向上に向け、特産品の普及拡大を進めており、今後一層の生産体制の整備と共に販売網の普及拡大を図っていくことが必要と考えている。また、にぎわいのある活力あふれるまちづくりを図っていくことが大事であり、中心市街地の魅力が増すような施設や、まちなみなどの整備についても一層の推進が必要と考えている。さらに、現在、高田松原復興祈念公園の整備に向け検討が進められており、より一層の交流人口の増加を図っていくことが重

要と考えている。

**質問** 予算の編成に当たったの復興計画の精査、見直し  
の必要性についてはどうか。

**答弁** 震災復興計画そのものは復興に向けた理念を示した基本構想や、構想実現に向けた基本計画で構成されており、復興計画の見直し等については予定していない。

### 高田・今泉地区区画整理事業における 防災集団移転促進事業について

**質問** 事業の進ちよくはどうか。

**答弁** 両地区の場合は、土地区画整理事業で造成する住宅団地の中に防災集団移転の移転先の宅地を配置する仕組みであることから、土地区画整理事業の進ちよくがそのまま防災集団移転促進事業の進ちよくとなる。高田地区のかさ上げ部及び今泉地区については、換地の割込み作業を進めているが、防災集団移転促進協議会には、28年春の仮換地案の供

覧の手続きが終了後に、移転の場所や分譲価格を提示したい。

**質問** 一部に区画整理事業との間に不公平があるとの声があるが、どのように考えるか。

**答弁** 公平性を考慮し本市独自のルールを設定しており、基本的に大きな不公平感はないものと考えている。

### 被災地復興のための 土地利用計画策定促進事業について

**質問** 事業プロジェクトを立ち上げ、事業実施計画を作るべきと思うがどうか。

**答弁** 現在、復興交付金の活用が図れる事業を優先しているが、必要に応じて考えたい。



復興交付金事業により高台造成、かさ上げの進む今泉地区



福田 利喜  
(創生会)

### 行方不明者の家族への ケアが必要ではないか

**質問** 行方不明者の捜索に  
関し、古川沼については、  
の川原川改修や護岸工事の際  
水路を切り分けるなどして捜  
索する方法など、具体的方策  
を県に提案、要望する手段も  
あると思うがどうか。

**答弁** これまでも、情報の  
あるところについてはその都  
度要望してきたが、具体的

提案もしながら県警に対し要  
望を続けていく。

**質問** 行方不明者の家族に  
対する様々な相談をはじめ、  
支援に対する窓口が不明だが、  
対応・相談できる部署を設け  
る必要があると思うがどうか。

**答弁** 被災者支援室を全般  
的な窓口とし、関係機関に引  
き継ぐよう対応したい。

### まち・ひと・しごと 総合戦略の主眼は何か

**質問** 策定作業中のまち・  
ひと・しごと総合戦略の主眼  
は何か。

**答弁** 本市に定住を促進す  
るものとして、「陸前高田市  
へ新しい人の流れをつくる」  
ことを第一の目標に掲げ、交  
流人口や関係人口の増加を主  
眼とした。

**質問** 総合戦略策定にあた  
ったの評価では、全国同じよ  
うなもの評価されないと聞  
いている。地方版の作成過程  
において本市の独自性・地域  
性を知ることとは本市の進むべ  
き道を見つかる良いツールに  
なるのではないか。

**答弁** 本市の持つ可能性を  
市の内外から探る良い機会と  
して捉えている。



改めて行方不明者の捜索が必要な古川沼



蒲 生 哲  
(新 政 会)

## 人口減少社会の 対策対応は

**質問** 人口減少の対策の一つとしてUターン希望者を受け入れる施策はないか。

**答弁** 大学等の進学により一度本市を離れた方が、再び戻りたいと思ってもらえるようなまちづくりを目指している。被災者や市外からの転入者を十分に受け入れられる環境を整っていない状況である。

**質問** 陸前高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び陸前高田市人口ビジョン策定支援業務における将来展望の見通しはどうか。

**答弁** プランの検討を重ねているところである。地域産業の担い手や子育て、医療・福祉など生活に必要なサービスの確保、公共施設や社会保険サービスの維持など、将来にわたって、若い方々が一度

ふるさとを離れたとしてもまた戻って、本市に住んでいただけるよう取り組む。

## I-LCCへの考えは

**質問** I-LCC（国際リーディング）の設置建設が、国や県をあげて期待されている。I-LCC建設による成果は、

未来の私たちにとつて、有益なものであることに期待が持てる。I-LCCの受け入れに対する考えはどうか。

**答弁** 岩手県をはじめ近隣自治体と連携を図りながら、要望活動や本市も加入する岩手県国際リーディング推進協議会とともに活動を展開していく。

## 高田東中学校の新校舎進捗は

**質問** 開校に向けての工事の進捗はどうか。

**答弁** 平成28年10月末までに建設工事を完了し、3学期から新校舎で授業を開始する予定である。



陸前高田市立高田東中学校完成予定図

**質問** 新校舎は、どのような機能を持ち、開かれた学校とはどのようなものなのか。

**答弁** パソコン室、多目的室、図書室、家庭科室、音楽室、体育館については、地域開放が可能となるよう配置を工夫している。

特に、体育館は、体育施設としての地域開放に加え、防災機能上の設備も兼ね備えたものとしている。

## 震災の教訓から学んだ 今後のまちづくりは

**質問** 震災後、初の津波避難訓練の問題点はどうか。

**答弁** 消防団と自主防災組織との連携の必要性、防災無線が聞きにくい場所があった。

**質問** 避難場所と避難所の違いが理解されていないのではないか。

**答弁** 防災講座等で周知を



佐々木 一 義  
(創 生 会)

図っていく。

**質問** 区画整理区域の造成についての説明会で、一世帯の宅地は約100坪以下の説明があったが、今回現地を見ると100坪以上の宅地があるのはなぜか。

**答弁** 高台造成地に山林を所有していた方で、大きく減歩されるが換地ということで返している。



完成間近の高台2造成地

## 全国市議会議長会研究フォーラム

### 伊藤議長が事例報告

全国市議会議長会研究フォーラムが福島県文化センターで開催され、全国から議員など約2千人が参加しました。

フォーラムでは、基調講演などのほか、課題討議が行われ、本市・気仙沼市・南相馬市の各議長が「震災復興と議会現場からの報告」と題して発表しました。伊藤明彦議長



震災後の議会運営について話す伊藤議長

は、非常時の首長を支え、議会を運営するなど混乱期を乗り越えた足跡を伝え、聴講者の関心を集めました。



伊勢 純  
(日本共産党)

## 住宅再建支援の活用策を

**質問** 本市で取り組む住宅再建支援制度の実績はどうか。

**答弁** 本市の支援としては住宅再建支援922件、水道事業補助341件、利子補助234件、引越し補助931件、浄化槽設置補助686件などである。

また、県支援は住宅再建支



住宅再建が進む高台の団地（広田町）

援918件、新築バリアフリー化補助460件、県産材新築補助243件などで、国支援は基礎支援金3596件、加算支援金1556件などである。

**質問** 課題は何か。

**答弁** バリアフリー化補助は50%、県産材補助及び利子補助は25%と利用率が低い。

**質問** 制度利用を進めるため、再建者や事業者に個別に働きかけるべきではないか。

**答弁** バリアフリー化補助は、住宅再建者や建築業者への啓発パンフレットの配布、県産材の利用促進は、建築業者、加工業者などに改めて制度の解説チラシを配布する。さらに利子補助補助も金融機関を訪問し制度活用を促す。

## TPPから撤退を

**質問** 本市の一次産業へのTPPの影響はどうか。

**答弁** 県は県内影響額を農産物899億円、林産物10億円、水産物106億円、そして間接的な影響も含め総額1435億円と予測している。

**質問** TPPは本市の医療や雇用、復興にも影響が心配

される。重要農産物を守る内容の国会決議にも違反する。撤退すべきと思うが、どうか。  
**答弁** 仮にTPPが始まったとしても経営安定への影響が最小限となるよう努める。一方で国に国会決議の尊重と、特に米など主要5品目の生産者の不安を払しょくする手立てを強く求める。

## 新図書館の建設に向けて

**質問** 大人1250人や児童生徒1344人からの新図書館アンケート結果を設計などに生かしてほしいが、どうか。

**答弁** 館内の飲食や開館時間間の延長などを基本構想に盛り込んだ。

**質問** 子どもが潜り込んだり、大人がゆったりできるなど、居心地のよい図書館を提案したい。市の考えはどうか。

**答弁** 静かに勉強できる場所やおしゃべりの場所、屋外テラス席などを検討している。

**質問** 図書館の職員には専門性が求められ、重要と思うが、市の考えはどうか。

**答弁** 開館に向けて専門職の司書を2名募集中である。新職員体制は今後検討する。



藤倉 泰治  
(日本共産党)

## 災害援護資金貸付の利用を

**質問** 最高350万円借りることができる災害援護資金貸付の利用状況はどうか。

**答弁** 貸付件数が172件、総額4億8300万円となっている。

**質問** 利用が極めて少ない。受付の際に「連帯保証人がない」「高齢」や「使途不明」等で断られるケースがある。

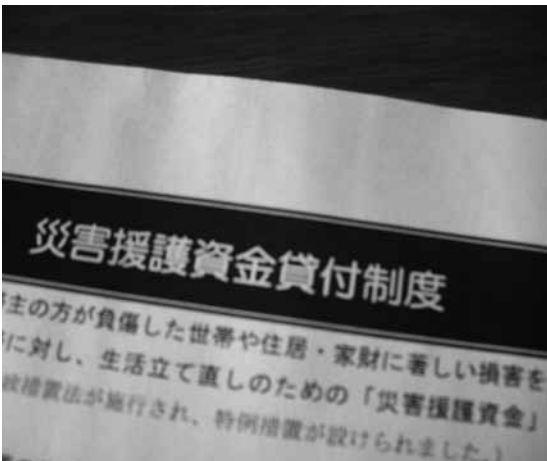
**厚労省通達（平成23年5月）**では、「東日本大震災では保証人を立てなくてもよい」となっている。もっと利用できるようにすべきではないか。

**答弁** 平成26年1月に県から「原則として連帯保証

人が必要」という指導があり、「高齢等で償還が困難等と判断される場合は、連帯保証人を求める」こととなった。  
**質問** 厚労省通達に基づき「保証人を立てる場合は無利子、立てない場合は利率1.5%」とすべきではないか。  
**答弁** 県と協議し対応を検討したい。

## いじめ問題で保護者ともに対応を

**質問** 平成26年と27年、県内の中学校で「いじめ」を苦に自殺という痛ましい事件があった。その教訓についての受け止めはどうか。



災害援護資金貸付の案内チラシ



**答弁** 極めて残念で痛ましく二度とあってはならない。

**質問** 今年の矢巾町の事件を受けて、文科省は再調査を実施したが、県内ではいじめ認定が倍増し、1774件となった。本市ではどうか。

**答弁** 当初、小学校で1件のみだったが、ひやかしからかい等、再調査の結果、小学校で17件、中学校で8件、合計25件となった。各校で一定の解決が図られている。

**質問** 被災地の学校で携帯やネットによるいじめが広がっている。携帯所持の際、学校・親・子の説明会など具体的な対応はどうか。

**答弁** 各学校で保護者懇談会等を通して指導しているが、市として統一した指導を行っていないので、今後検討したい。

## 被災工商業者への支援を

**質問** 「50万円補助」といわれる本市独自の事業再開支援の利用と成果はどうか。

**答弁** 330件、1億6400万円余の利用で、早期再建と雇用確保に大きな役割を果たしている。

# 議会報告会を開催しました

議会基本条例に基づく議会報告会を11月4日から6日まで、市内3会場で開催しました。今回は各常任委員会の3班編成とし、それぞれ会場ごとに特定テーマを設け団体や市民の方々と懇談しました。

議会報告会で頂いた意見等は、議会広聴広報特別委員会（及川修一委員長）で取りまとめを行い、伊藤明彦議長が12月16日、市長に対して議会報告会の結果を伝えました。

## 総務班

総務班は、11月5日、陸前高田商工会を会場に、商工会青年部の皆さんと今後の商業振興について懇談しました。

最初に、26年度決算の審査状況等を報告し、その後、特定の課題に絞ることなく皆さんが抱えている疑問などについて活発な意見交換を行いました。

### ●主な要望と提言

- ・中小企業基盤整備機構が震災後に整備してきた仮設の店舗や事務所の使用期限が早いところ、28年10月に期限を迎えるが、まだ移転先の造成が終わらないことから、仮設店舗等の使用延長が必要。
- ・安全性の確保、高校生の通学や買い物客のためにも市街地に街灯を取り付けてほしい。
- ・人口が少なくなると商売の

機会も少なくなることから、人口増に向けた施策を。

- ・子どもが集まる、雨天でも遊べる場所を商店街につくれば、親は子どもを中心に動くので、広場などを整備してほしい。
- ・市役所に市民が気楽に行けて、職員と話ができるスペースを設けてほしい。

## 教育民生班

教民班は、11月4日、県立高田病院を会場に、同病院の再建をテーマに病院職員と懇談しました。

### ●主な要望と提言

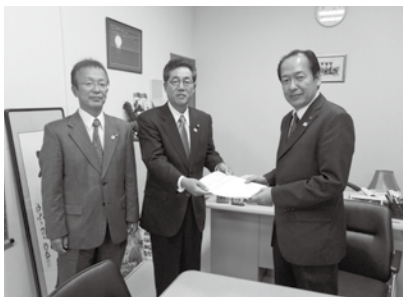
- ・高田病院は、29年度に高台5へ建設予定だが、隣接した場所に一年遅れで市保健福祉総合センターが整備される。
- ・その間の連携体制が課題。
- ・高田病院と市保健福祉総合センターは道路をはさんで建

## 産業建設班

産建班では11月6日、市役所を会場に、TPP協定交渉の大筋合意が及ぼす本市農業への影響についてをテーマに関係団体等と懇談しました。

### ●主な要望と提言

- ・TPPにより、日本産の米を海外へ全て売ってしまうと国内で国産の米が食べられなくなる可能性がある。それは防いでほしい。
- ・高田のような小さい地域で行っている場所でも国の補助金などを有効活用できるようにしてほしい。
- ・農家も高齢化してきている。担い手も育てなくてはいけない。頑張る人を応援するようにしてほしい。
- ・本市の現状や農業を今後どうしていくのか、関係機関で話し合う場がもっと必要。
- ・シカの被害は畜産農家でもあるので、防護柵等を使いたい農家もいる。当事者にとつて使い易い制度にしてほしい。
- ・予算の要望や提案をしたいが、予算の項目がわからないと意見が出しづらいため教えてほしい。HPなどとは見ない。伝えているじゃなく、伝わるようにしてほしい。



伊藤議長が市長に対して議会報告会の結果を伝える

- 設される。相互の施設を歩き来するための地下通路など、歩行者の安全対策が必要。
- ・コミセンや高校を通じて出前健康講座を行っている。地域全体で健康づくりを進めていくためにも支援を。
- ・看護師不足などが全国的な課題である。医療や介護系の人材確保に取り組んでほしい。
- ・古里に若者が帰ってこられるよう、小児科の医療体制を整えていく必要がある。
- ・以前から「地域連携バス」に取り組み、医療機関と医療福祉介護機関とが情報を共有している。今後も連携が大切。
- ・訪問診療を行っていきたいが、一日平均180名の外来患者を受け入れなければならず、スタッフ不足が課題。市内は広いので、診療のための移動に時間がかかり過ぎる。

# 議案の審議・結果 <12月定例会>

平成27年第4回定例会は、12月4日から16日までの会期で行いました。来年度から横田中学校と第一中学校が統合する内容の一部改正条例をはじめ、復興関連の補正予算など議案19件を原案通り可決・同意しました。

開会初日は、執行前提案7件を即決しました。内容は、復興関連の住宅再建に伴う市道路線の変更・認定などです。

結は、契約金額を29億円とし、請負者を池田建設(株)・(株)共立土木経常建設共同企業体としました。

このほか、執行前提案1件と条例案4件、平成27年度各種補正予算案5件を予算等特別委員会(大坪涼子委員長)に付託。慎重審議の結果、最終日に追加提案された補正予算など計12議案と1件の議員発議案を全会一致で可決し、閉会しました。

議員発議は、国に「中小企業基盤整備機構が整備した仮設施設の使用期限の延長を求める意見書」を提出する内容です。

可決された一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8200万円を追加し、総額を1251億5100万円としました。歳出の主なもの、高田松原物産施設整備基本計画策定業務委託料496万円、玉山休養施設改修工事費514万円などです。

◆各種委員の選任、任命に同意  
固定資産評価審査委員会の委員として、次の方の選任に同意しました。

また、姉齒橋の復旧に向けた災害復旧工事の請負契約締

○高田町字鳴石119番地32 宗宮 安宏氏(68歳)  
○高田町字山苗代1番地10 菅野 幸枝氏(37歳)  
○広田町字長洞155番地1 村上 みき子氏(64歳)  
教育委員会の委員として、次の方の任命に同意しました。

また、姉齒橋の復旧に向けた災害復旧工事の請負契約締

○矢作町字神明前2番地1 佐々木 保伸氏(62歳)

## 提出議案及び審議結果(平成27年第4回定例会)

議案番号	議案内容	審議結果	備考
議案第1号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	
議案第2号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	"	議案第12号 原案可決
議案第3号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	"	
議案第4号	教育委員会の委員の任命について	"	
議案第5号	市道路線の変更について	原案可決	議案第13号 平成27年度陸前高田市一般会計補正予算(第4号)
議案第6号	市道路線の認定について	"	議案第14号 平成27年度陸前高田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案第7号	陸前高田市被災市街地復興整備事業の変更業務委託契約締結について	"	議案第15号 平成27年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第8号	損害賠償の額を定め和解することについて	"	議案第16号 平成27年度陸前高田市介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第9号	陸前高田市市税条例等の一部を改正する条例	"	議案第17号 平成27年度陸前高田市水道事業会計補正予算(第3号)
議案第10号	陸前高田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	"	議案第18号 23災1174号市道今泉高田線姉齒橋橋梁災害復旧工事の請負契約締結について
議案第11号	陸前高田市立中学校設置、管理に関する条例の一部を改正する条例	"	議案第19号 平成27年度陸前高田市一般会計補正予算(第5号)

### 【請願審査】

今定例会に提出された請願第8号と請願第9号は、委員会審査を経て本会議にはかられました。請願第8号は全会一致で採択となりました。請願第9号は質疑・討論を行ったあと、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

請願	請願者	請願の趣旨	結果
【請願第8号】 陸前高田市立小友小学校の移転新築について	小友地区コミュニティ推進協議会 会長 吉田 豊司 陸前高田市立小友小学校PTA 会長 吉田 幸喜	子どもたちの大切な「いのち」を守り、安心・安全な校舎で授業が行えるように、安全な場所への小友小学校の整備を求めます。	採択
【請願第9号】 TPP交渉の情報公開とTPPからの撤退・調印中止について	農民運動岩手県連合会 会長 久保田 彰孝	TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の情報公開とTPPからの撤退・調印中止を実現するために政府及び関係機関に意見書の提出を求めます。	不採択

なお、請願第9号の採決にあつたては、討論が行われました。

賛成討論	反対討論
○伊勢 純(日本共産党) 本請願の主旨は、TPPの情報公開と、TPPからの撤退・調印中止の実現を政府などに求めるものである。 市内の「たかたのゆめ」栽培者は、TPPの詳細は不明だが場合により経営をやる、やらないを決めることになると話している。 県漁連代表理事会長は、本県水産物生産額の減少は約191億円、危機的状況に陥ると表明している。また、岩手県建設業協会会長は、地元優先注の撤廃となれば地域経済に甚大な影響が出ると述べている。 本市の復興にも大きな妨げとなるものである。	○昌山 恵美子(翔英会) 外交・防衛等は国の専権事項である。請願内容のごとく、12ヵ国間のTPP交渉大筋合意に対して、撤回と調印・批准を行わないことを求める意見書を出すのは、妥当ではない。 請願書は、陸前高田市民からのものではなく、請願理由の根拠も不十分である。また、外交交渉事項の現段階での公開は現実的ではない。 本市議会がなすべきは、TPPに向けて活力ある持続可能な産業基盤の育成であり、地域特性を活かした戦略的な政策・施策を当局と議論し、導き出すことである。

【表決が分かれた案件】

	三井俊介	島山恵美子	中野貴徳	蒲生哲	丹野紀雄	伊勢純	鶴浦昌也	菅野定	佐々木一義	大坂俊	菅原悟	大坪涼子	清水幸男	福田利喜	藤倉泰治	菅野稔	及川修一	伊藤明彦
請願第9号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	欠	×	○	×	×	議

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「議」は議長のため、採否に参加せず。

【発議】

今定例会で提出した議員発議は、全会一致で原案可決しました。

発議	発議の理由等	結果
<p>【発議第8号】 中小企業基盤整備機構が整備した仮設施設の使用期限の延長を求める意見書の提出について</p>	<p>本市の中心市街地は、土地のかさ上げ工事が続くなど、本格的な店舗及び事業所の建設や本格再開まで時間を要する状況であることから、中小企業基盤整備機構が整備した仮設施設の使用期限が使用開始から5年間という定めに対し、その延長を求め、国の関係機関に意見書を提出するもの。</p>	<p>原案可決</p>



一宮市立図書館

# 管外行政視察報告

## 教育民生常任委員会

教育民生常任委員会は、11月9日から11日まで、愛知県一宮市と京都府京都市で行政視察を行いました。

一宮市では、平成25年1月に中心市街地の駅ビル跡地へ開館した市立中央図書館を訪問しました。

施設は7階建てで、児童対象のフロアや一般のフロアなど、利用者の目的に合うよう機能的に配置されていました。蔵書約46万点のすべてにICタグが貼付されており、自動貸し出し機の活用のほか、業務の一部を民間委託するなど合理化が図られています。本市で再建される市立図書館の整備に向け、大変参考になる機会となりました。

京都府は認知症対策を積極的に進めており、高齢化が進む本市の参考とするため、市役所を訪れました。

担当職員から、認知症に対する正しい理解の普及や認知症高齢者とその家族が地域から孤立しないよう見守る応援者・サポーターを養成することの必要性などについて説明を受けました。

高齢化の問題は全国各地での共通課題であり、地域全体で高齢者を支え合う取り組みの大切さを学ぶ研修となりました。

## 産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、11月11日から13日にかけて、兵庫県洲本市と徳島県上勝町、同県神山町において行政視察を行いました。

洲本市では、バイオマス産業都市の取組みについて研修しました。

菜の花・ひまわりエコプロジェクトを始めとする地域の特色を生かし、環境に優しく



洲本市

災害に強いまちづくりを目指すとした施策について説明を受けました。

上勝町では、「新産業創出の取組み」、神山町では、「働き方の変化を活用した地方創生」についての視察を行いました。両町においては、人口減少・高齢化の中で、地域の生業の再生と町外からの移住者の受入れを行ってきた経緯を伺いました。

特に上勝町では、主となるミカン栽培が大寒波を受け全滅し、苦境から脱出すべく取り組んだ苦勞を伺いました。そこでは「先ずそれぞれの地域条件を知ること」、それから住民・事業者・行政が一体となって、全ての知恵と協力の調和で、継続的に取り組むことが大事だと改めて強く感じた研修となりました。

# 復興関連事業の現地を調査 復興対策特別委員会

復興対策特別委員会（及川一委員長）では、12月14日、復興事業の進捗よく状況の現地調査を行いました。

最初に、第一中学校北側の高台2の地区では住宅が再建可能となった状態を調査し、その後、防集では市内最大規模の完成した脇の沢団地（69区画）を調査。さらに、高田東中学校新校舎建設現場では28年度の三学期からの使用開始を目指して工事されていました。

また、在京陸前高田人会ふるさとのつどい・市議会議員研修会・全国市議会議長会研究フォーラム・議会報告会・議案の審議結果・請願審査・管外行政視察・復興対策特別委員会の動きなどを掲載させていただきます。



完成した脇の沢団地を調査

公営住宅（31戸）の工事が急ピッチで進められていました。さらに、広田小学校北側の高台には、広田地区公共施設（広田診療所・消防屯所・広田地区コミュニティセンター等）の整備用地造成工事が進められています。

あけまして  
おめでとう  
ございます

ございます

公職選挙法により、年賀状などを出すことはできませんのでご理解願います。

陸前高田市市議会  
議員 一同



## 11月～12月 議会のうごき

平成27年11月以降の議会の主な活動状況を次のとおりお知らせします。

- < 11月 >
- 4日 議会報告会（教民班）
  - 5日 議会報告会（総務班）
  - 6日 議会報告会（産建班）
  - 9日～11日 教育民生常任委員会管外行政視察（愛知県一宮市、京都府京都市）
  - 11日～13日 産業建設常任委員会管外行政視察（兵庫県洲本市、徳島県上勝町、神山町）
  - 16日 岩手県市議会議長会議員研修会
  - 18日～19日 全国市議会議長会研究フォーラム in 福島
  - 20日 復興対策特別委員会理事会
  - 25日 復興対策特別委員会／全員協議会／総務常任委員会

- < 12月 >
- 1日 議会運営委員会
  - 4日 第4回定例会（～16日）／全員協議会／広聴小委員会／広報小委員会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会
  - 8日 会派代表者会
  - 9日 広聴小委員会、ICT小委員会
  - 10日 予算等特別委員会／復興対策特別委員会理事会
  - 11日 予算等特別委員会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会
  - 14日 復興対策特別委員会／議会運営委員会
  - 16日 全員協議会／議会広聴広報特別委員会／復興対策特別委員会／広報小委員会
  - 25日 広報小委員会
  - 28日 会派代表者会

## 議会を傍聴しませんか？

次の定例会は2月下旬に開会予定です。また、災害FM（80.5MHz）やインターネットラジオで、本会議・特別委員会を放送しています。

## 編集委員

◆広報小委員会	小委員長	菅野 稔
副委員長	菅野 昌也	
委員	菅野 貴徳	
同	中野 純	
同	伊勢 純	
同	菅野 定	

## あとがき

輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。95回目の発行となりました今回の市議会だよりの表紙には、平成28年陸前高田市消防出初式の市内行進を掲載させていただきました。

12月定例会での一般質問には、11人が登壇し、市役所新庁舎建設予定地・中小企業支援・復興関係・いじめ問題・医療・福祉・教育など幅広い議論が交わされました。

また、在京陸前高田人会ふるさとのつどい・市議会議員研修会・全国市議会議長会研究フォーラム・議会報告会・議案の審議結果・請願審査・管外行政視察・復興対策特別委員会の動きなどを掲載させていただきます。

今後とも読みやすい、わかりやすい広報誌をお届けいたしますのでよろしく願います。

（小委員長）



平成28年1月20日第95号発行／陸前高田市議会（岩手県陸前高田市高田町字鳴石42の5） ☎0192（54）2111 印刷／南第一印刷